



建設情報誌

C-net 通信

Construction

さが

Vol. 14

2010年4月7日
(毎週水曜日発行)

株式会社 NSC

佐賀市日の出1丁目16-19

TEL 0952・97・9643

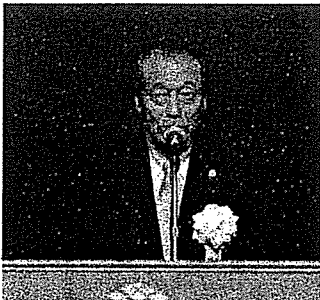
FAX 0952・97・9647

■会員料金■
(ネット+冊子)

月額 4,200円(税込)

年間契約 46,200円(税込)

http://www.nsci.co.jp



あいさつする原裕社長

研究成果発表会を開催

ミラクルソルの有用性^{など}報告

日本建設技術グループ

日本建設技術(株) (本社・唐津市北波多、原裕社長) グループの2010年度研究成果発表会が3日、唐津市の唐津シーサイドホテルであった。ガラス廃材を再利用した新素材「ミラクルソル」の有用性に関する研究成果が報告されたほか、今後の事業展開などが紹介された。発表会にはグループ5社の社員ら約150人が出席した。



唐津市内で開かれた研究成果発表会

冒頭のあいさつで原社長は「建設業界は入札制度の変化などで受注・経営環境が非常に厳しいが、今後は提案型の工事や設計が増えていく。提案力を高めるには技術力の向上、発注者のニーズに応えることが必要」と述べ、時代の変化に敏感な会社が生き残ることを強調。持続できる会社を目指し、選ばれる会社づくりなどに取り組む姿勢を示した。

また、来賓の保利耕輔衆議院議員、大場芳博佐賀県議会議員がそれぞれ祝辞を述べ、ものづくりの大切さや信頼につながる仕事の重要性を語った。

7回目となる発表会ではまず、同社技術研究所地盤環境研究室の牛原裕司主任が「有明海干潟域におけるミラクルソルを用いた底質改善効果の実証」のテーマで研究成果を発表。9年間取り組んできた実証実験の結果、ミラクルソルが底質改善に効果を発揮し、生態系の再生に

寄与したことを説明した。

次に、同社技術研究所水環境研究室の飯田拓史研究員が「水質浄化用ミラクルソルに関する経過・活動」を報告。飯田研究員は、淡水魚の飼育・養殖用ろ過材としてミラクルソルの高い浄化能力が国内外で認められた実績を紹介し、今後は海水魚のろ過材としても普及に取り組む方針を話した。

最後に、原社長が09年度の活動状況と新たな軽量盛土工法「FWG&チューブ軽量盛土工法」を説明し、▽ミラクルソルを用いた工法の全国的普及▽環境分野で貢献できる新技術・新工法の提案▽建設企業として挑戦を続ける一の三つを推進していくと述べた。

発表会の講評で荒木宏之・佐賀大学低平地沿岸海域研究センター教授は「風を読む(先を読む)」という発想が大切。時代の変化を敏感に感じ取り、更なる発展につなげてほしい」と締めくくった。